【資料１】

令和２年度

利益の処分

及び

決算の状況

熊本市上下水道局

利益の処分について

令和２年度の決算に伴う剰余金を、議会の議決により処分を行うもの。

《水道事業会計》　（単位　：　円）

		未処分利益剰余金
当年度純利益		2,835,559,805
その他未処分利益剰余金変動額		1,863,085,411
当年度末残高		4,698,645,216
議会の議決による処分		
	減債積立金への積立	△ 1,935,077,455
	自己資本金に組入	△ 2,763,567,761
処分後残高		0

当年度未処分利益剰余金4,698,645,216円のうち、1,935,077,455円を減債積立金へ積み立て、2,763,567,761円を自己資本金に組み入れるものとする。

《下水道事業会計》　（単位　：　円）

		資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度純利益		0	1,777,045,293
その他未処分利益剰余金変動額		0	2,600,000,000
当年度末残高		5,294,770,304	4,377,045,293
議会の議決による処分			
	自己資本金に組入	0	△ 4,377,243,211
	非償却資産の譲渡	△ 7,348	7,348
	非償却資産の売却	△ 190,570	190,570
処分後残高		5,294,572,386	0

非償却資産の譲渡等により資本剰余金が197,918円減少し、当年度未処分利益剰余金4,377,045,293円に資本剰余金の減少に伴う利益剰余金の増加額を加えた4,377,243,211円を自己資本金に組み入れるものとする。

《工業用水道事業会計》　（単位　：　円）

		未処分利益剰余金
当年度純利益		378,326
その他未処分利益剰余金変動額		124,957
当年度末残高		503,283
議会の議決による処分		
	自己資本金に組入	△ 503,283
処分後残高		0

当年度未処分利益剰余金503,283円を自己資本金に組み入れるものとする。

■令和２年度　水道事業会計決算

1. 業務の状況

	指標名	単位	定義	令和２年度	令和元年度	増　減	伸び率(%)
1	給水人口	人	水道により給水を受けている人口(住民基本台帳に基づく)	703,124	701,516	1,608	0.2
2	普及率	%	給水人口/行政区域内人口	96.1	95.9	0.2	－
3	年間総配水量(A)	㎥	配水池などから配水された水量	79,211,773	79,709,537	△ 497,764	△ 0.6
4	年間有収水量(B)	㎥	料金収入の対象となった水量	71,005,900	70,161,394	844,506	1.2
5	有収率（B/A）	%	年間有収水量/年間総配水量	89.6	88.0	1.6	－

２. 収益的収支の状況

（単位：千円・税抜き）

科目＼年度	令和２年度		令和元年度		増　減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	伸び率(%)
1　事業収益	13,094,549	100.0	13,316,093	100.0	△ 221,544	△ 1.7
(1) 料金収入	11,491,103	87.8	11,591,947	87.0	△ 100,844	△ 0.9
(2) 一般会計負担金・補助金	88,568	0.7	77,194	0.6	11,374	14.7
(3) その他収益	1,413,639	10.8	1,477,920	11.1	△ 64,281	△ 4.3
(4) 受託工事収益・特別利益	101,239	0.7	169,032	1.3	△ 67,793	△ 40.1
2　事業費用	10,258,989	100.0	10,585,765	100.0	△ 326,776	△ 3.1
(1) 職員給与費	1,610,295	15.7	1,612,751	15.2	△ 2,456	△ 0.2
うち退職給付費	131,411	1.3	85,097	0.8	46,314	54.4
うち退職給付費以外	1,478,884	14.4	1,527,654	14.4	△ 48,770	△ 3.2
(2) 維持管理費	3,349,721	32.7	3,562,973	33.7	△ 213,252	△ 6.0
①動力費	664,179	6.5	694,977	6.6	△ 30,798	△ 4.4
②薬品費	17,740	0.2	17,930	0.2	△ 190	△ 1.1
③修繕および材料費	478,647	4.7	473,388	4.5	5,259	1.1
④委託料	1,157,543	11.2	1,194,920	11.2	△ 37,377	△ 3.1
⑤その他	1,031,612	10.1	1,181,758	11.2	△ 150,146	△ 12.7
(3) 支払利息	475,312	4.6	515,201	4.9	△ 39,889	△ 7.7
(4) 減価償却費	4,675,491	45.6	4,683,666	44.2	△ 8,175	△ 0.2
(5) 受託工事費・特別損失	148,170	1.4	211,174	2.0	△ 63,004	△ 29.8
3　当年度純利益	2,835,560		2,730,328		105,232	

３．資本的収支の状況

（単位：千円・税込み）

科目＼年度	令和２年度 金額	令和２年度 構成比(%)	令和元年度 金額	令和元年度 構成比(%)	増減 金額	増減 伸び率(%)
1　資本的収入	1,750,862	100.0	2,076,181	100.0	△ 325,319	△ 15.7
(1) 企業債	1,000,000	57.1	1,300,000	62.6	△ 300,000	△ 23.1
(2) 一般会計補助金	32,099	1.8	30,845	1.5	1,254	4.1
(3) 負担金	191,351	10.9	169,618	8.2	21,733	12.8
①消火栓新設負担金	31,542	1.8	41,838	2.0	△ 10,296	△ 24.6
②工事負担金	159,809	9.1	127,780	6.2	32,029	25.1
(4) 加入金	527,412	30.2	575,652	27.6	△ 48,240	△ 8.4
(5) 固定資産売却代金	0	0.0	66	0.1	△ 66	皆減
2　資本的支出	9,122,728	100.0	7,517,455	100.0	1,605,273	21.4
(1) 建設改良費	7,259,643	79.6	5,713,542	76.0	1,546,101	27.1
①施設改良費	812,186	8.9	488,656	6.5	323,530	66.2
②拡張費	235,149	2.6	226,307	3.0	8,842	3.9
③第６次拡張事業費	1,787,938	19.6	1,543,743	20.5	244,195	15.8
④水道施設整備費	1,376,981	15.1	3,329,796	44.3	△ 1,952,815	△ 58.6
⑤水道施設更新費	2,931,897	32.1	0	0.0	2,931,897	皆増
⑥リース債務支払額	115,492	1.3	116,768	1.6	△ 1,276	△ 1.1
⑦災害復旧費	0	0.0	8,272	0.1	△ 8,272	皆減
(2) 企業債償還金	1,863,085	20.4	1,794,240	23.9	68,845	3.8
(3) 補助金返還金	0	0.0	9,673	0.1	△ 9,673	皆減
3　資本的収支	△ 7,371,866		△ 5,441,274		△ 1,930,592	

補てん財源	7,371,866	5,441,274
(1) 消費税資本的収支調整額	551,664	387,575
(2) 減債積立金	1,863,085	1,794,240
(3) 損益勘定留保資金	4,957,117	3,259,459

４．企業債残高の状況

（単位：千円）

	令和２年度	令和元年度	増減	
企業債残高	32,277,746	33,140,832	△ 863,086	△ 2.6%

■令和２年度　水道事業会計決算の状況

1　収益的収支の状況　　（単位：千円　*税抜き*（前年度金額

収 入 総 額　13,094,549（　13,316,093　▲1.7%　）

87.8%
料金収入　11,491,103

支 出 総 額　10,258,989（　10,585,765　▲3.1%　）

15.7%	32.7%	4.6%	
職員給与費 1,610,295 (1,612,751　▲0.2%)	維持管理費 3,349,721(3,562,973　▲6.0%)		

支払利息
475,312（515,201　▲7.7%）

2　資本的収支の状況　　（単位：千円　*税込み*）（前年度金額

収 入 総 額　1,750,862（　2,076,181　▲15.7%　）

57.1%	30.2%		← 12.7%
企業債 1,000,000 (1,300,000 ▲23.1%)			

補助金等
223,450　（200,529　11.4%増）

加入金
527,412
（575,652　▲8.4%）

不足額　7,371,866

25.3%	74.7%
減債積立金　1,863,085	損益勘定留保資金等

支 出 総 額　9,122,728（　7,517,455　21.4%増　）

79.6%
建設改良費　7,259,643（5,713,542　27.1%増）

3　その他　　（単位：千円）（前年度金額　増減率）

企業債残高　32,277,746（ 33,140,832　▲2.6% ▲ 863,086 ）

増減率）

	12.2%
（11,591,947　▲0.9%）	その他の収益 1,603,446 （1,724,146　▲7.0%）

1.4%

45.6%	
減価償却費 4,675,491（4,683,666　▲0.2%）	

当年度純利益2,835,560
（2,730,328　3.9%増）

受託工事費等
148,170（211,174　▲29.8%）

増減率）

（案）議会の議決を経て、当年度純利益の2,835,560千円のうち、900,482千円を自己資本金に組み入れ、1,935,078千円を減債積立金に積み立てる。

5,508,781

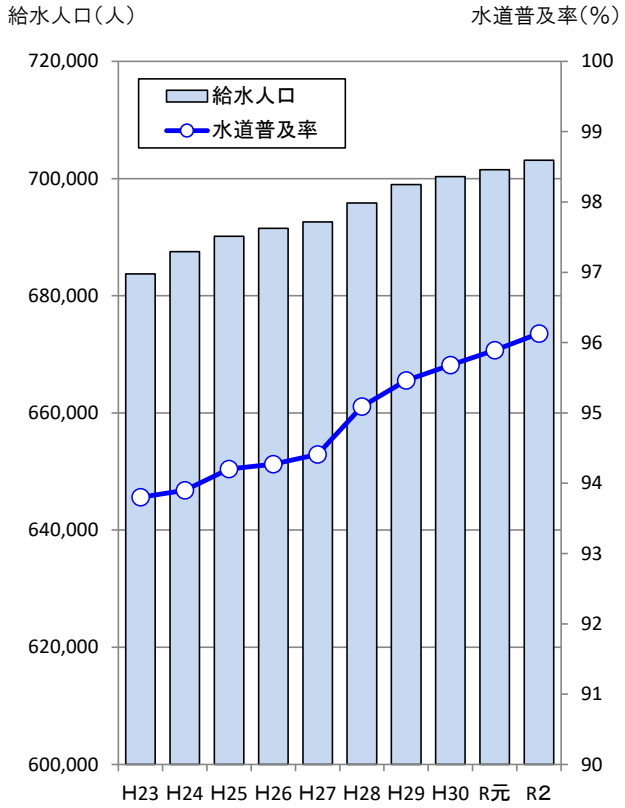
（脚注）
損益勘定留保資金とは、収益的支出のうち現金の支出を伴わない費用の一部（減価償却費、固定資産除却費など）

	20.4%
	企業債償還金　1,863,085 （1,794,240　3.8%増）

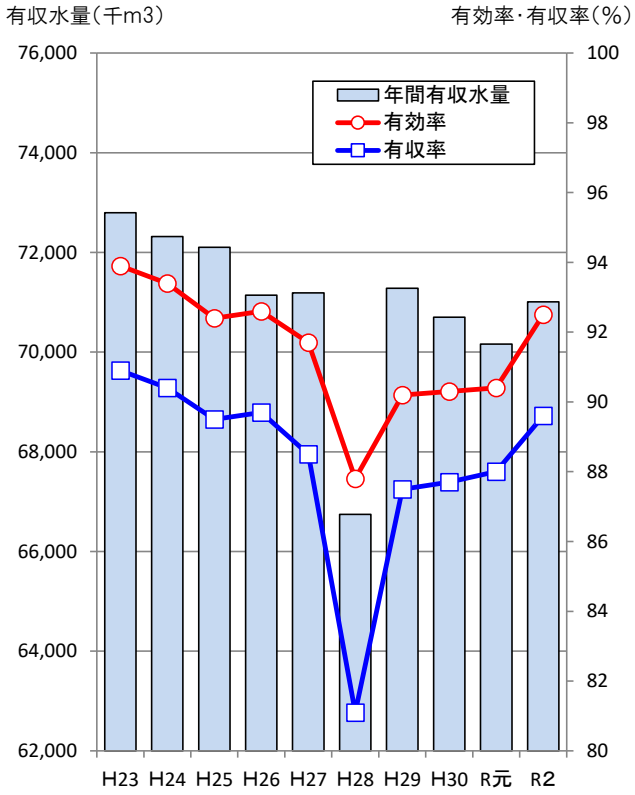
■水道事業会計の決算推移

1.事業推移

(1)給水人口と水道普及率の推移

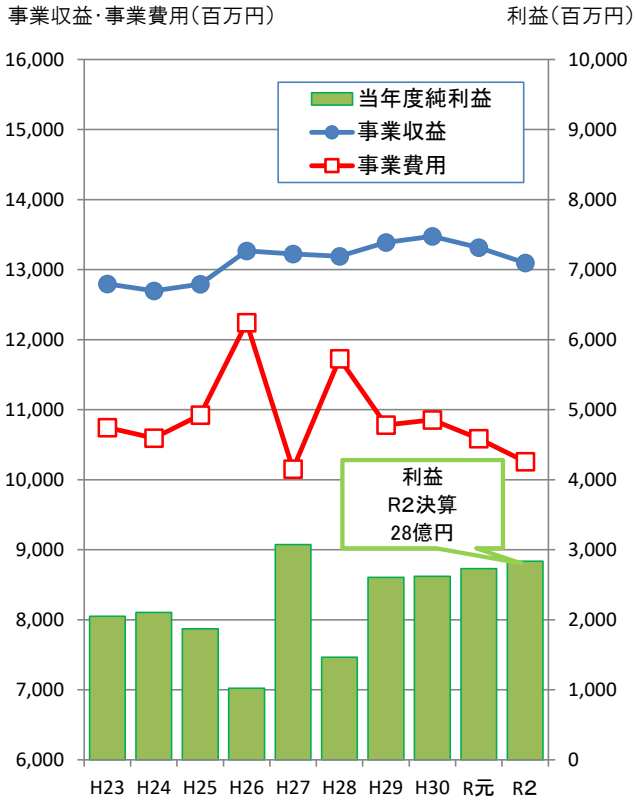


(2)有収水量・有収率・有効率の推移

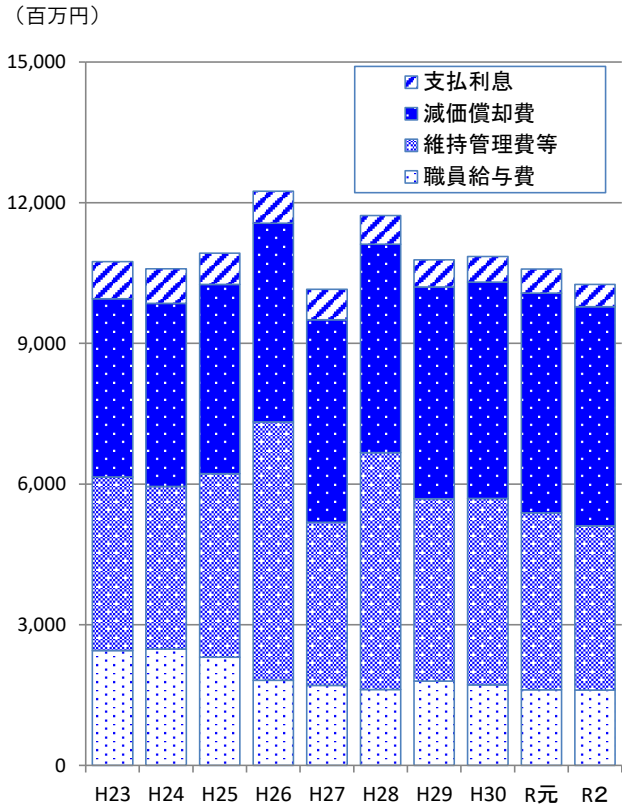


2.事業収益と事業費用の推移

(1)事業収益と事業費用の推移

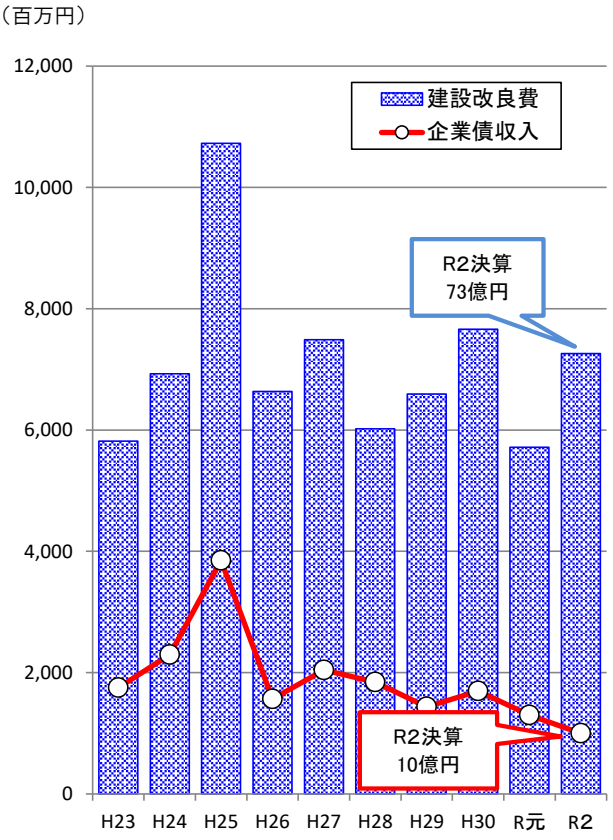


(2)性質別費目の推移

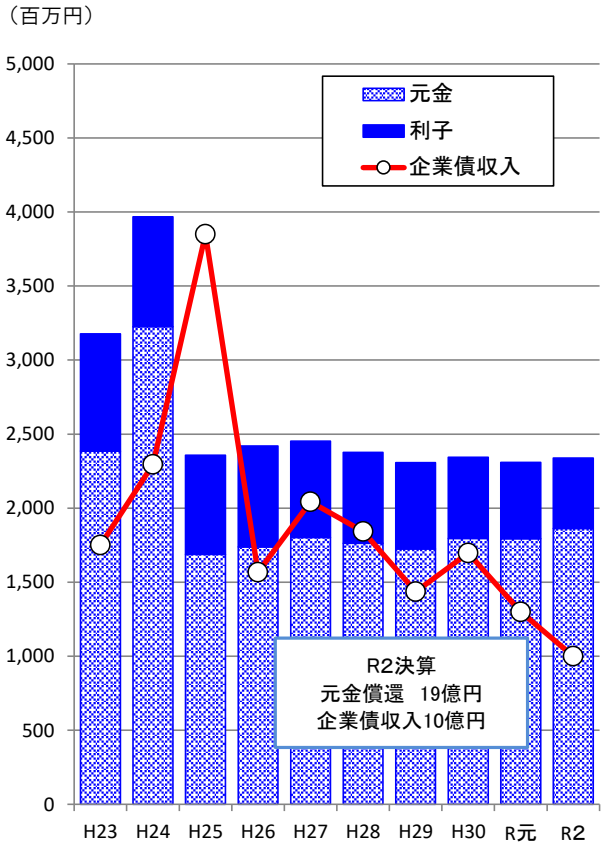


3.建設改良費と企業債の推移

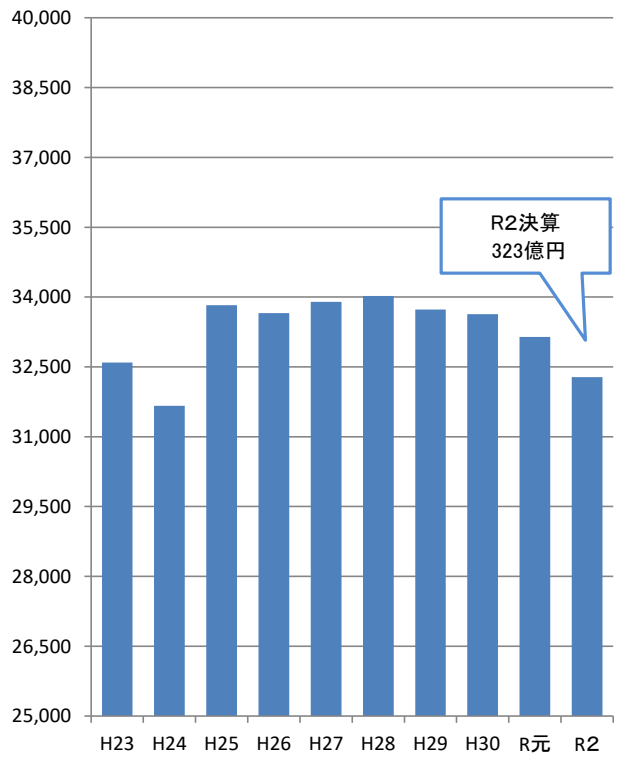
(1)建設改良費と企業債収入



(2)企業債償還の推移



(3)企業債残高の推移



令和２年度　水道事業会計　主要事業

（単位：千円、税込み）

	事業費
水道施設更新事業（水道施設整備事業（繰越）を含む）	**4,308,878**
1　施設の更新	817,950
2　取水井戸の更新	330,422
3　基幹管路の更新【整備延長】　L＝約2.2km	1,293,654
4　老朽管の更新【整備延長】　L＝約18.7km	1,766,496
5　人件費等	100,356
第6次拡張事業	**1,787,938**
1　合併町における配水管等の布設　L=約13.8km	775,806
2　基幹管路の新設【整備延長】　L=2.7km	538,949
3　施設の機能強化	104,664
4　その他の配水管の布設等　【整備延長】　L=約2.9km	310,869
5　人件費等	57,650

事業期間	令和2年度～令和11年度	総事業費	約343億円
事業目的	老朽化した管路及び施設の更新と耐震化		
事業進捗	耐震管更新延長　（実績）/計画延長 R2末　11.5%　20.9km/181.8km		

事業期間	平成22年度～令和10年度	総事業費	約430億円
事業目的	旧簡易水道の統合と市全域での施設・管路の機能強化		
事業進捗	耐震管布設(未普及地区含む)延長　（実績）/計画延長 R2末　74.8%　282.3km/377.6km		

＜新市基本計画進捗状況　令和２年度決算＞

	計画総額A	計画対象投資B	進捗率B/A	その他投資額C	総合計D(B+C)
城南	8,100,000	8,483,146	104.7%	199,560	8,682,706
植木	3,800,000	6,166,984	162.3%	458,504	6,625,488
富合	1,797,000	2,818,091	156.8%	1,364,250	4,182,341

※富合町はＨ27年度末完了・植木町はH28年度末完了

環境局と連携した地下水を育む取組　（収益的収支に係る経費）	72,857
1　水源かん養林整備事業費負担金	14,314
2　白川中流域水田かん養事業費負担金	21,800
3　公益財団法人くまもと地下水財団法人	24,693
4　硝酸性窒素削減対策事業費負担金	10,000
5　水道水源保全奨励金	2,050

■令和２年度　下水道事業会計決算

１．業務の状況

	指標名	単位	定義	令和２年度	令和元年度	増　減	伸び率(%)
1	処理区域内人口	人	公共下水道により下水を排除することができる区域内の人口	660,810	657,885	2,925	0.4
2	普及率	%	処理区域内人口/行政区域内人口	90.3	89.9	0.4	－
3	水洗化率	%	水洗化戸数/処理区域内戸数(処理区域内の接続率)	97.4	97.3	0.1	－
4	汚水処理水量(A)	㎥	汚水を処理した水量	85,145,464	85,422,253	△ 276,789	△ 0.3
5	年間有収水量(B)	㎥	料金収入の対象となった処理水量	72,339,449	71,800,777	538,672	0.8
6	汚水有収率(B/A)	%	年間有収水量/年間汚水処理水量	85.0	84.1	0.9	－

２．収益的収支の状況

（単位：千円・税抜き）

科目＼年度	令和２年度		令和元年度		増　減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	伸び率(%)
1　事業収益	19,312,027	100.0	19,972,090	100.0	△ 660,063	△ 3.3
(1) 下水道使用料	10,247,051	53.1	10,393,230	52.0	△ 146,179	△ 1.4
(2) 一般会計負担金	1,003,609	5.2	1,027,095	5.1	△ 23,486	△ 2.3
(3) 他会計補助金	2,789,117	14.4	3,007,749	15.1	△ 218,632	△ 7.3
(4) その他	5,272,250	27.3	5,544,016	27.8	△ 271,766	△ 4.9
2　事業費用	17,534,982	100.0	17,842,672	100.0	△ 307,690	△ 1.7
(1) 職員給与費	1,089,428	6.2	1,055,416	5.9	34,012	3.2
うち退職給付費	74,739	0.4	0	0.0	74,739	皆増
うち退職給付費以外	1,014,689	5.8	1,055,416	5.9	△ 40,727	△ 3.9
(2) 維持管理費	4,322,167	24.6	4,490,703	25.1	△ 168,536	△ 3.8
①動力費	304,041	1.7	328,866	1.8	△ 24,825	△ 7.5
②薬品費	33,231	0.2	50,098	0.3	△ 16,867	△ 33.7
③修繕および材料費	473,637	2.7	444,882	2.5	28,755	6.5
④流域下水道管理負担金	447,637	2.6	454,294	2.5	△ 6,657	△ 1.5
⑤委託料	2,200,060	12.5	2,062,889	11.6	137,171	6.6
⑥その他	863,561	4.9	1,149,674	6.4	△ 286,113	△ 24.9
(3) 支払利息	1,919,373	11.0	2,114,569	11.9	△ 195,196	△ 9.2
(4) 減価償却費	10,179,546	58.1	10,132,282	56.8	47,264	0.5
(5) 特別損失	24,468	0.1	49,702	0.3	△ 25,234	△ 50.8
3　当年度純利益	1,777,045		2,129,418		△ 352,373	

３．資本的収支の状況

（単位：千円・税込み）

科目＼年度	令和２年度 金額	令和２年度 構成比(%)	令和元年度 金額	令和元年度 構成比(%)	増減 金額	増減 伸び率(%)
1　資本的収入	14,035,643	100.0	15,407,162	100.0	△ 1,371,519	△ 8.9
(1) 企業債	8,578,400	61.1	8,794,900	57.1	△ 216,500	△ 2.5
(2) 国庫補助金	3,486,051	24.8	4,831,803	31.3	△ 1,345,752	△ 27.9
(3) 他会計補助金　等	1,847,095	13.1	1,658,436	10.7	188,659	11.4
(4) 受益者負担金　等	123,830	0.9	122,001	0.8	1,829	1.5
(5) 固定資産売却代金	267	0.1	22	0.1	245	1,113.6
2　資本的支出	22,147,022	100.0	22,145,754	100.0	1,268	0.1
(1) 建設改良費	13,155,831	59.4	13,268,513	59.9	△ 112,682	△ 0.8
①管渠布設費	7,791,869	35.2	8,227,898	37.2	△ 436,029	△ 5.3
②ポンプ場築造費	290,475	1.3	234,596	1.0	55,879	23.8
③処理場築造費	3,928,861	17.7	2,580,489	11.6	1,348,372	52.3
④建設負担金	48,448	0.2	62,310	0.3	△ 13,862	△ 22.2
⑤固定資産購入費	308,351	1.4	47,270	0.2	261,081	552.3
⑥築造総務費	771,933	3.5	639,049	2.9	132,884	20.8
⑦リース債務支払額	15,894	0.1	15,750	0.1	144	0.9
⑧災害復旧費	0	0.0	1,461,151	6.6	△ 1,461,151	皆減
(2) 企業債償還金	8,991,191	40.6	8,877,241	40.1	113,950	1.3
※３　資本的収支	△ 8,111,379		△ 6,814,052		△ 1,297,327	

※３　令和元年度の資本的収支の額は、資本的収入額のうち翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額75,460千円を除いたため、収入額と支出額の差とは一致しない。

補てん財源	8,111,379	6,814,052
(1) 消費税資本的収支調整額	715,335	556,896
(2) 減債積立金	2,600,000	0
(3) 繰越工事資金	75,460	0
(4) 損益勘定留保資金	4,720,584	6,257,156

４．企業債残高の状況

（単位：千円）

	令和２年度	令和元年度	増減	
企業債残高	133,899,744	134,312,534	△ 412,790	△ 0.3%

■令和２年度　下水道事業会計決算の状況

1　収益的収支の状況　（単位：千円　*税抜き*）　（前年度金額

収　入　総　額　19,312,027　（　19,972,090　▲3.3%　）

53.1%	19.6%
下水道使用料　10,247,051（10,393,230　▲1.4%）	一般会計負担金 3,792,726 ▲6.0%）

支　出　総　額　17,534,982　（　17,842,672　▲1.7%　）

6.2%	24.6%	11.0%	
職　員 給与費	維持管理費	支払利息	減価償却費

4,322,167（4,490,703　▲3.8%）

1,089,428（1,055,416　3.2%増）

1,919,373（2,114,569　▲9.2%）

2　資本的収支の状況　（単位：千円　*税込み*）　（前年度金額

収　入　総　額　14,035,643　（　15,407,162　▲8.9%　）

61.1%	37.9%
企業債 8,578,400（8,794,900　▲2.5%）	補助金　等 5,333,146（6,490,239 ▲17.8%）

支　出　総　額　22,147,022　（　22,145,754　0.1%増　）

59.4%
建設改良費　13,155,831（13,268,513　▲0.8%）

3　その他　（単位：千円）（前年度金額　増減率）

企業債残高　133,899,744　（ 134,312,534　▲0.3%　▲ 412,790 ）

増減率）

	27.3%
・補助金 （4,034,844	その他の収益 5,272,250（5,544,016　▲4.9%）

0.1%

58.1%	
10,179,546（10,132,282　0.5%増）	

特別損失
24,468（49,702　▲50.8%）

当年度純利益1,777,045
（2,129,418　▲16.5%）

（案）議会の議決を経て、当年度純利益の1,777,045千円を自己資本金に組み入れる。

増減率）

1.0%

負担金等　124,097
（122,023　1.7%増）

（脚注）
損益勘定留保資金とは、収益的支出のうち現金の支出を伴わない費用の一部（減価償却費、固定資産除却費など）

不足額　8,111,379

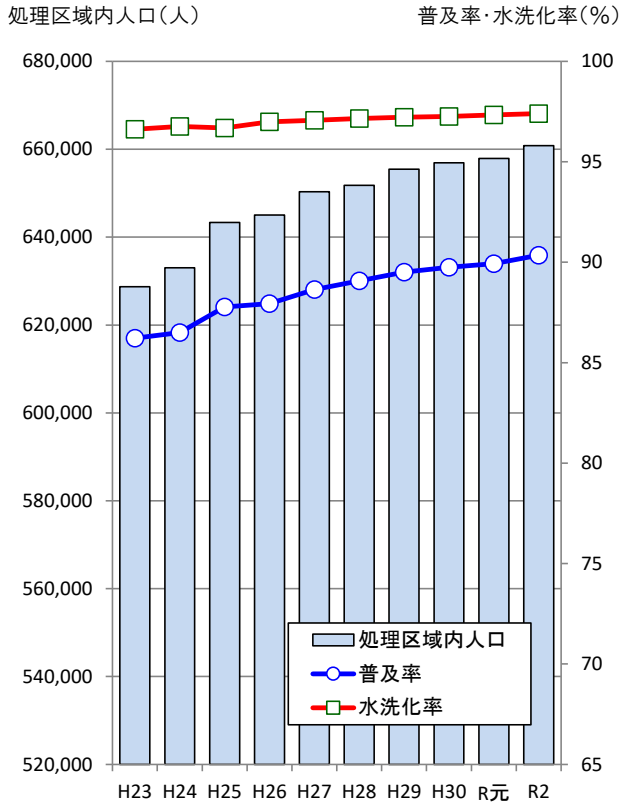
32.1%	67.9%
減債積立金 2,600,000	損益勘定留保資金等　5,511,379

	40.6%
	企業債償還金　8,991,191（8,877,241　1.3%増）

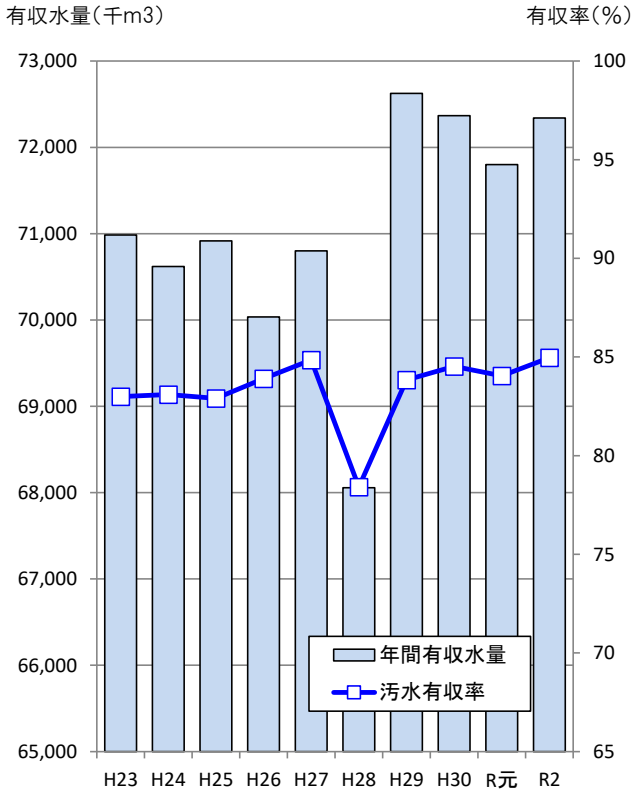
■下水道事業会計の決算推移

1.事業推移

(1)処理区域内人口と普及率の推移

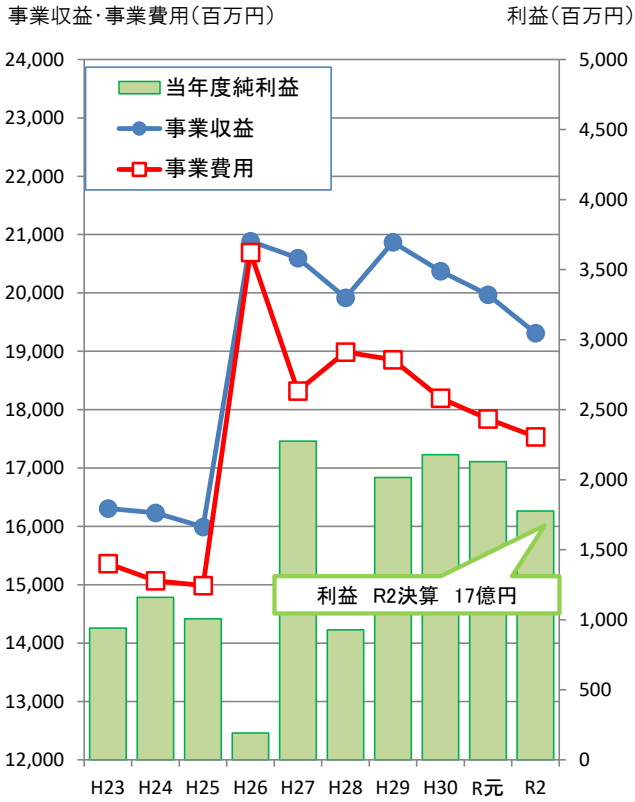


(2)有収水量・有収率の推移

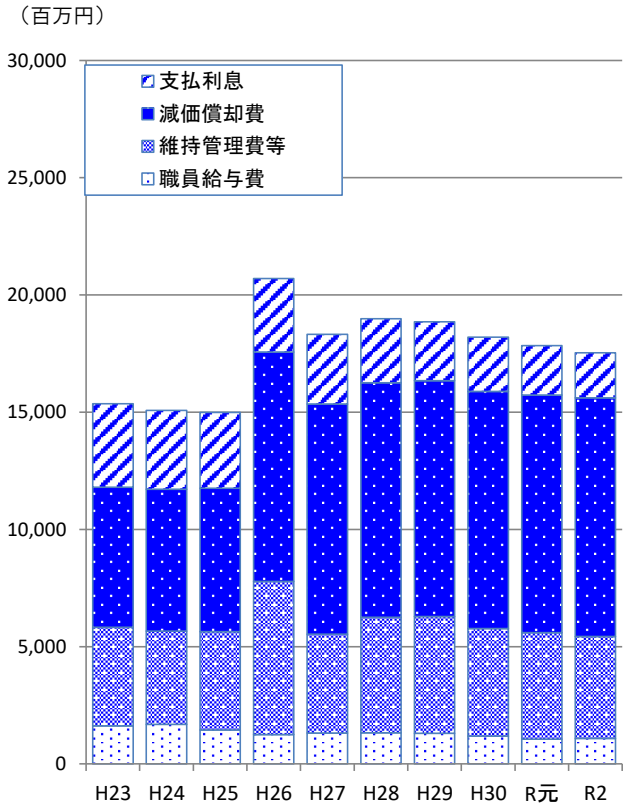


2.事業収益と事業費用の推移

(1)事業収益と事業費用の推移

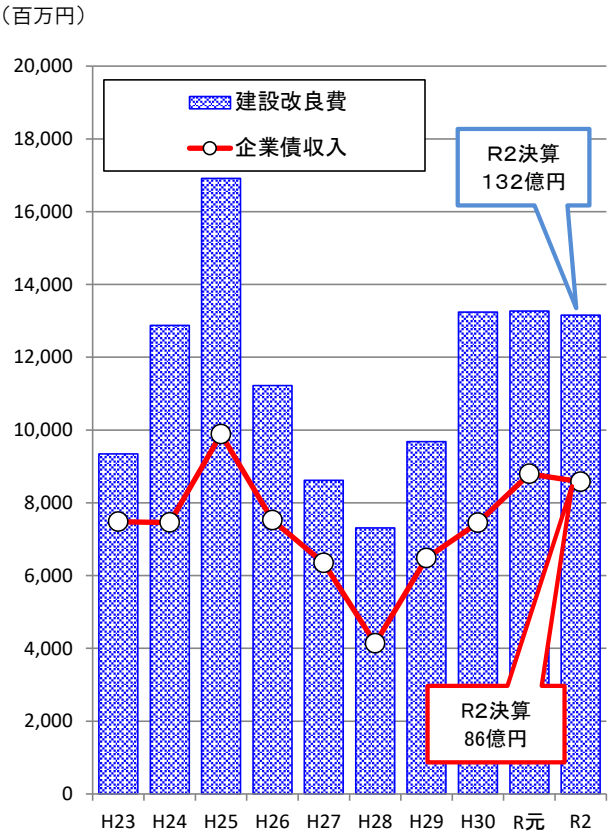


(2)性質別費目の推移

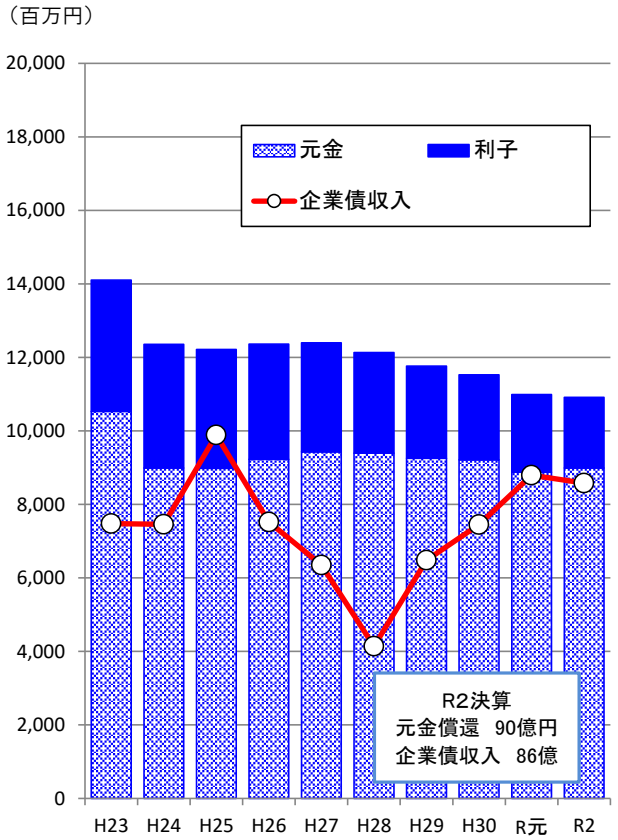


3.建設改良費と企業債の推移

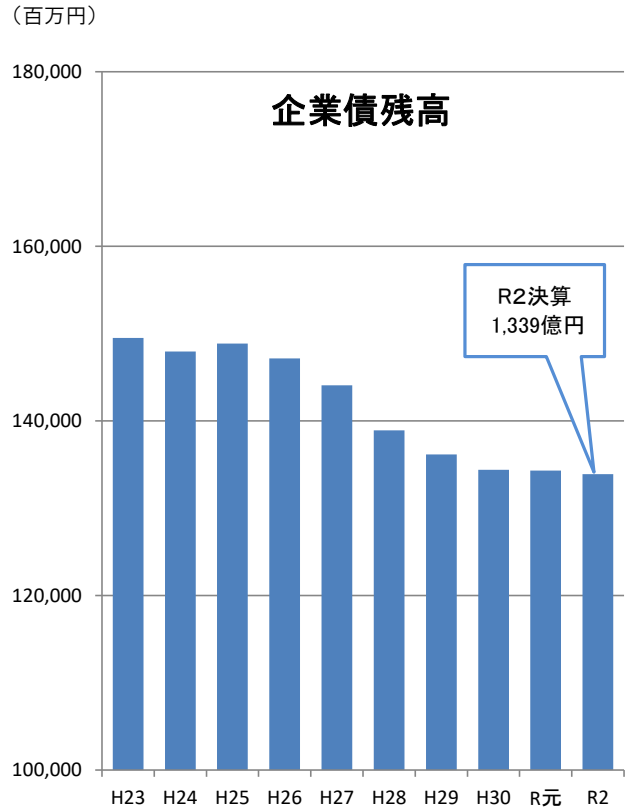
(1)建設改良費と企業債収入



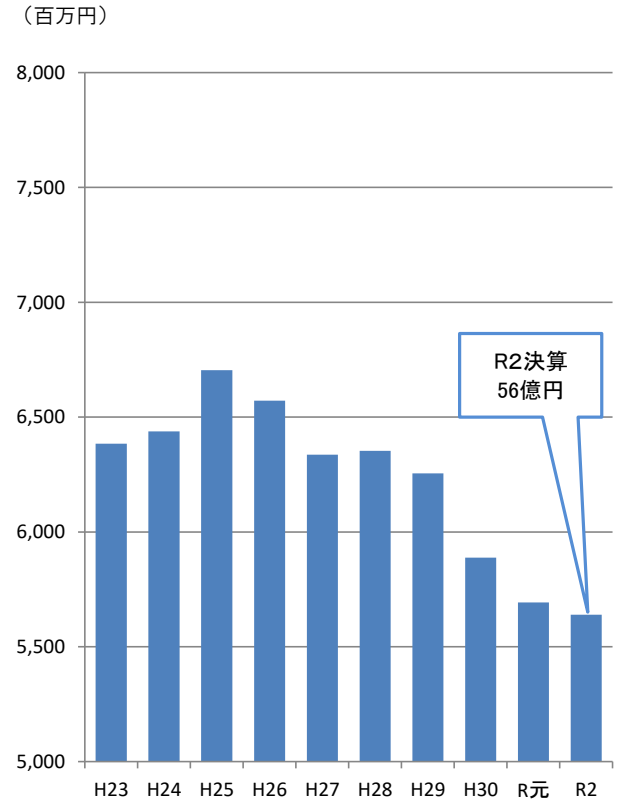
(2)企業債償還の推移



(3)企業債残高の推移



4.一般会計繰入金の推移



令和２年度　下水道事業会計　主要事業

（単位：千円、税込）

	事業費
未普及解消築造事業	**6,751,484**

事業目的	未普及地区へ公共下水道施設を整備し、生活環境の改善を図る。
事業進捗	令和２年度末普及率90.3%

1　熊本地区における管渠等の整備経費　整備面積【103ha】	4,997,987
2　富合地区における管渠等の整備経費　整備面積【9ha】	590,794
3　城南地区における管渠等の整備経費　整備面積【14ha】	853,587
4　植木地区における管渠等の整備経費　整備面積【7ha】	309,116

＜新市基本計画進捗状況　R2年度末＞

	計画総額	投資額	進捗率
富合	4,650,000	4,806,042	103.4%
城南	5,000,000	5,546,356	110.9%
植木	5,700,000	4,825,838	84.7%

東部浄化センター高度処理施設整備	**2,003,581**

事業目的	高度処理施設を整備し、放流先である有明海等の水質改善を図る。
事業進捗	H28～29:用地買収 H30～R5:第一期整備工事　→　R5～:一部供用開始

1　高度処理施設（B-3-1系増設）	2,001,881
2　その他	1,700

下水道施設の改築更新・耐震化	**2,682,879**

事業目的	老朽化した公共下水道施設の改築更新及び耐震化を図る。
事業進捗	ストックマネジメント計画に基づく施設の改築、合流区域管渠の改築

1　浄化センター、ポンプ場施設の改築更新・耐震化	1,966,892
2　管路施設の改築更新・耐震化	533,565
3　その他	182,422

浸水対策	**615,607**
事業目的：浸水地区（重点6地区浸水対策等）の整備を行い、安心・安全な都市基盤づくりを図る。 事業進捗：坪井川第3排水区　令和2年度供用開始　外	
1　重点6地区浸水対策経費	574,076
2　その他	41,531
災害時対応能力の強化	**96,294**
1　マンホールトイレ整備	96,294

■令和２年度　工業用水道事業会計決算

１．業務の状況

	指標名	単位	定義	令和２年度	令和元年度	増　減	伸び率(%)
1	給水事業所数	社	給水している事業所の数	11	11	0	－
2	年間総配水量	㎥	配水池から配水管に送り出された水量	37,555	38,048	△ 493	△ 1.3
3	年間総有収水量	㎥	料金収入の対象となった水量	59,539	57,310	2,229	3.9
4	※有収率	%	年間総有収水量/年間総配水量	158.5	150.6	7.9	－

※基本使用水量に満たない場合でも、基本使用水量分の水道料金を徴収するため、100%を超えている。

２．収益的収支の状況

（単位：千円・税抜き）

科目＼年度	令和２年度		令和元年度		増　減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	伸び率(%)
1　事業収益	5,360	100.0	5,245	100.0	115	2.2
(1) 料金収入	3,171	59.2	3,055	58.2	116	3.8
(2) 長期前受金戻入等	2,189	40.8	2,190	41.8	△ 1	△ 0.1
2　事業費用	4,982	100.0	4,777	100.0	205	4.3
(1) 維持管理費等	2,516	50.5	2,312	48.4	204	8.8
(2) 減価償却費	2,466	49.5	2,465	51.6	1	0.1
3　当年度純利益	378		468		△ 90	

３．資本的収支の状況

（単位：千円・税込み）

科目＼年度	令和２年度		令和元年度		増　減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	伸び率(%)
1　資本的収入	0	－	0	－	0	－
2　資本的支出	170	100.0	16	100.0	154	962.5
(1) 建設改良費	45	26.5	16	100.0	29	181.3
(2) 企業債償還金	125	73.5	0	0.0	125	皆増
3　資本的収支	△ 170		△ 16		△ 154	

補てん財源	170	16
(1) 消費税資本的収支調整額	4	1
(2) 減債積立金	125	0
(3) 損益勘定留保資金	41	15

４.企業債残高の状況

（単位：千円）

	令和２年度	令和元年度	増　減	
企業債残高	875	1,000	△ 125	△ 12.5

■令和２年度　工業用水道事業会計決算の状況

1　収益的収支の状況　　（単位：千円　*税抜き*）（前年度金額　増減率）

収入総額　　5,360（5,245　2.2%増）

59.2%	40.8%
料金収入 3,171 (3,055　3.8%増)	長期前受金戻入等 2,189 (2,190　▲0.1%)

支出総額　　4,982（4,777　4.3%増）

50.5%	49.5%	
維持管理費等 2,516 (2,312　8.8%増)	減価償却費 2,466 (2,465　0.1%増)	当年度純利益 378 (468 ▲19.2%)

(案)議会の議決を経て、当年度純利益の378千円を自己資本金に組み入れる。

2　資本的収支の状況　　（単位：千円　*税込み*）（前年度金額　増減率）

補てん財源

損益勘定留保資金等 45、減債積立金 125

26.5%	73.5%
建設改良費 45 (16 181.3%増)	企業債償還金 125 (0 皆増)

3　その他　　（単位：千円）（前年度金額　増減率）

企業債残高　　875　（1000　▲12.5%）